

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
輸血移植検査学特論	3年次	必修	講義	1単位（30時間）	五十嵐 康之 ※
授 業 概 要					
輸血移植検査学における基礎知識から検査手技、検査結果の解釈、副作用、血液製剤の管理など臨床検査技師として必要な知識と手技を総合的に理解する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・血液型の遺伝学や免疫学を説明できる。 ・輸血検査に必要な基礎知識（血液製剤の保存と管理を含む）、検査方法、結果の解釈を説明できる。 ・輸血副作用・合併症や母児血液型不適合妊娠について説明できる。 					
実務経験のある教員					
五十嵐 康之：受託臨床検査施設及び病院での臨床経験を踏まえ、輸血検査の基礎知識から最新の臨床知見と検査技術を関連付けて概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	輸血の基礎				五十嵐 康之 ※
2	輸血療法の概要、輸血用血液製剤の種類と特性				
3-4	輸血の適応と製剤の選択				
5	A B O血液型の基礎、R h血液型の基礎				
6	その他の血液型、白血球抗原、血小板抗原				
7-8	輸血検査法				
9	赤血球抗体検査：規則抗体と不規則抗体、不規則抗体検査法概要				
10	不規則抗体検査（スクリーニング・同定）の特徴、結果の解釈				
11	交差適合試験				
12	自己血輸血				
13	自動分析機による輸血検査（カラム凝集法）				
14	血液媒介性感染症の検査、血小板抗体検査				
15	静脈路への成分採血装置の接続、操作				
	輸血副作用・合併症				
	母児間血液型不適合と新生児溶血性疾患				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の既出題問題を中心に講義を行う。 ・予習及び復習により理解を深めること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・試験は3回実施し、その平均点で評価する。 ・試験は臨床検査技師国家試験出題基準（厚生労働省医政局医事課）に準ずる問題200題とし、その得点率により評価する。 					
先 修 科 目					
基礎分野、専門基礎分野及び専門分野のうち、1年次及び2年次に配当されているすべての必修科目					
教科書、参考書					
[教科書] 最新臨床検査学講座 免疫検査学 窪田哲朗 他 医歯薬出版 JAMT技術教本シリーズ 輸血・移植検査技術教本 第2版 池田和博 他 丸善出版 配付資料					